

■特長

- ・ラジカルコントロール技術により、耐候性が非常にすぐれています。
- ・緻密な塗膜の形成と親水性を呈した塗膜表面により、降雨で汚れを流すセルフクリーニング作用で、長期間低汚染性を発揮します。
- ・臭気がマイルドで、下地の適用幅が広く、鉛・クロム化合物をはじめホルムアルデヒドを配合していません。
- ・塗り替え改修の間隔が大幅に延びるため、維持費用（メンテナンスコスト）の低減が図れます。
- ・薬剤を包剤化する防藻・防カビ剤の採用で、風雨により流出しないため、長期間藻やカビの発生を抑えます。
- ・速乾性で作業性にすぐれます。

■被塗物素材

- ・コンクリート、モルタル、サイディングボード、ALC、スレート板、木部、硬質塩びなど
- ・鉄部、亜鉛メッキ鋼板、アルミニウム、ステンレスなどの金属面

■製品要綱

種類・色	主剤：ハイホワイト、原色、および各色 硬化剤：低汚染硬化剤、弾性硬化剤
主な用途	戸建住宅、集合住宅、商業施設など内外壁面の上塗り 建築構造物、建築用パネル、各種金属部材など 各種旧塗膜の塗り替え用上塗り
容量	主剤：13kg・2.6kg（ハイホワイト、原色は13kg） 硬化剤：2kg・0.4kg
配合比	主剤：硬化剤 = 6.5：1
標準塗付量(kg/m ² ・回)	0.12~0.14
標準塗布面積(m ² /15kgセット・回)	107~125
希釈剤	塗料用シンナー
希釈割合 (重量%)	ハケ・ローラー 5~15 エアレス 10~20
標準塗装回数	2
可使時間(23℃)	5時間
指触乾燥時間(23℃)	40分
塗り重ね可能時間(23℃)	3時間以上14日以内
光沢	つや有り~3分つや
特化則該当物質	主剤：該当物質なし 硬化剤：該当物質なし
有機溶剤表示	主剤：第3種有機溶剤等 硬化剤：第3種有機溶剤等
消防法による危険物区分	主剤：第4類 第二石油類（非水溶性） 硬化剤：第4類 第二石油類（非水溶性）
※期待耐用年数	15~20年
材工価格(2024年2月現在)	¥3,400.-/m ² (当該製品のみ・300m ² 以上)

※期待耐用年数は、次回塗り替え時期の目安としてであり、塗装する地域、立地条件、塗装面の方角によって異なります。

■使用上の注意事項

- ・塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- ・塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- ・新設塗装の場合は素地に適したシーラー・プライマー・フィラー等を下塗りしてください。
- ・つやの調整品は、被塗物の形状、状態、塗装膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し確認してください。
- ・つや調整品(7分つや~3分つや)で仕上げる場合、1回目の上塗りはつや有りを塗装してください。
- ・塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- ・塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また温度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- ・絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- ・降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- ・新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- ・吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築用シーラーで適切なものを使用してからあらかじめ下塗りをしておいてください。
- ・鉄、非鉄金属部に塗装する場合は、必ず下塗りに適性のあるサビ止めペイントを塗装してください。
- ・木の材質、下地の状況によっては割れ、はがれが生じることがありますので、事前に試し塗りを実施し、確認してください。
- ・木部については、用途(カウンター、テーブル、椅子、棚、床等)により塗装に適さない場合があります。
- ・希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。また必要以上に希釈するとたれや色分かれの原因になります。
- ・塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- ・硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- ・硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に増粘・固化して使用できなくなります。配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
- ・夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。
- ・標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- ・調色には必ず081ライン サンフロンUV原色または、ロックトーンカララント3000(ベースの5%以内)を使用してください。
- ・ロックトーンカララント3000で調色する場合、フラットベースの使用は避けてください。
- ・取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

本内容は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。